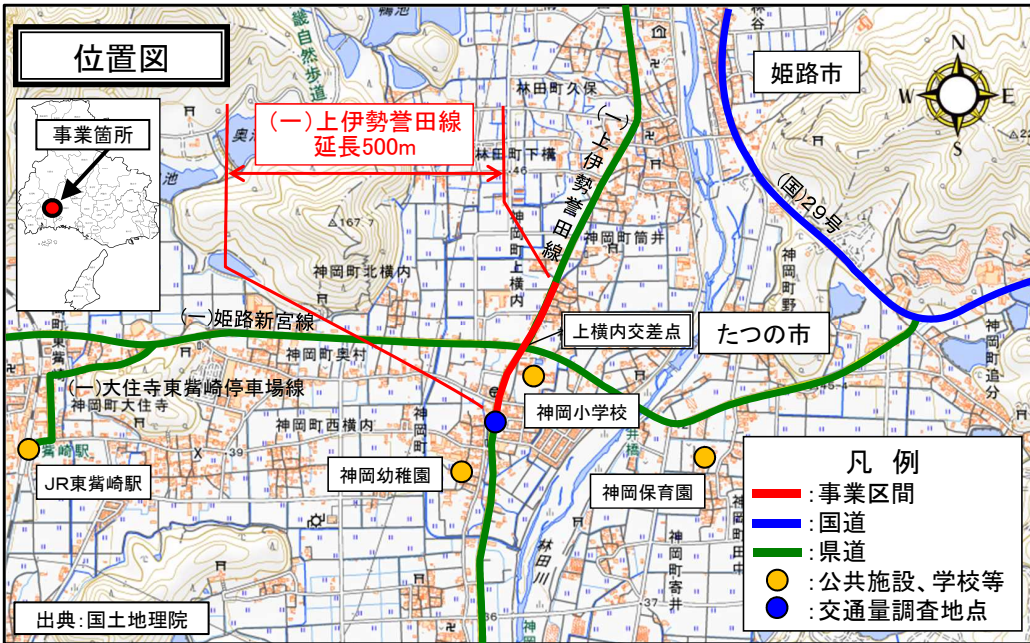


交通安全施設事業 一般県道 上伊勢誉田線（継続：再評価〔第1回〕）

位置図



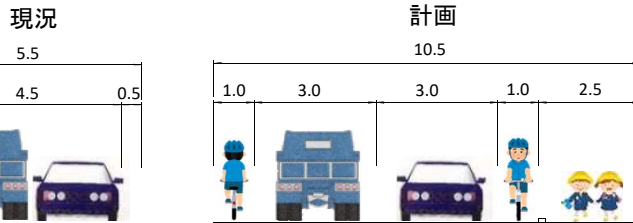
事業概要

新規評価年度	H22(2010)
事業採択年度	H23(2011)
着工年度	H23(2011)
再評価年度	R02(2020)

	今回評価時点	新規評価時点
総事業費	4.9億円	3.3億円
内用地補償費	3.7億円	2.1億円
完成予定年度	R5年度	H27年度
進捗率 〔用地補償〕	22% 〔17%〕	—
残事業費	3.8億円	—
B/C	—	—

事業内容 (新規評価時点)	【延長】歩道整備500m (500m)
	【構造規格】3種3級 (3種3級)
事業内容 (新規評価時点)	【計画幅員】車道6.0m〔全幅10.5m〕 (車道6.0m〔全幅10.0m〕)
	【現況交通量〔R2実測〕】
	自動車: 3,169台/日 (3,220台/日)
	歩行者: 71人/12h (52人/12h)
	自転車: 83台/12h (87台/12h)

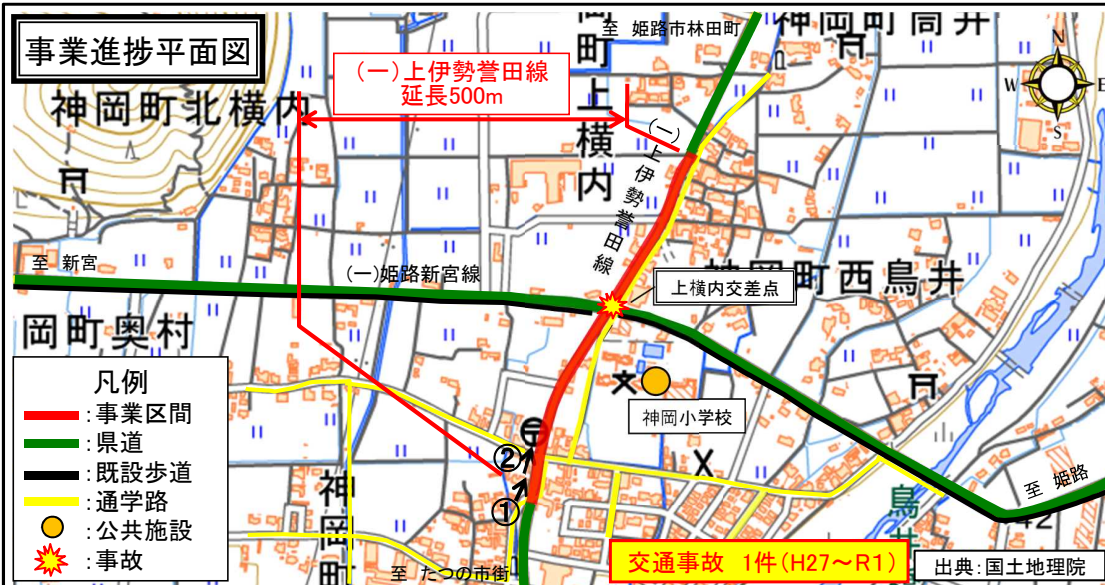
横断面図



事業の目的、必要性・優先性

目的	①歩行者、自転車の安全な通行空間の確保
必要性	①歩道がなく、路肩も狭いため、小学生を含む歩行者にとって危険。
優先性	②路肩が狭く、通学生(中学・高校)を含む自転車利用者にとって危険 ③通学路交通安全プログラムに位置付けられている

事業進捗平面図



現況写真

① 歩道がなく歩行者(特に通学児童)にとって危険



② 路肩が狭く自転車にとって危険



進捗状況

進捗状況	事業進捗状況・予定	整備効果
全体 (H23~R5)	【事業費=4.9億円】 歩道整備: 500m 用地取得: 約2,700㎡	神岡小学校の通学児童や自転車通学生をはじめとした歩行者・自転車の安全が確保できる
採択～現在まで (H23~R2)	【事業費=1.1億円】 ①事業進捗率 22% ②用地取得率 17%	
今後3年間 (R3~R5)	【事業費=3.8億円】 R3~R4 用地補償 R4~R5 歩道設置工事	一連の歩行者・自転車の安全が確保できる

工程表

工種	年度												
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
調査・設計	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
用地補償 (補償13件)										■	■	■	■
歩道設置												■	■

再評価の経緯・結果

再評価に至る経緯等	上横内交差点の北側から着手するため、計画協議を地元や地権者と続けてきたが、事業進捗を図ることが出来なかった。このため、上横内交差点南側からの着手に変更し、早期の事業完了・効果発現を図る方針を地元へ提案した結果、合意が得られた。
再評価の結果	事業の必要性は事業採択時と変わらず、かつ事業に対する地元の要望は強いことから、継続して事業を実施する必要がある。